

九大留学生が家庭訪問

ホームビジット交流で異文化を体験

糸島市国際交流協会では、年末年始にかけて九州大学留学生が市内の家庭を訪問するホームビジット交流を開催しました。

交流に参加した留学生は、中国やマレーシア、ベトナムなど7か国の14人。訪問先の家族と一緒に文化交流を楽しみました。

吉田さん宅を訪れた中国出身のシャオジンさんとマレーシア出身のプテリさんは人生初の巻きずし作りに挑戦。2人とも日本語で「おいしい」と語っていました。



巻きずし作りに挑戦するシャオジンさん(中央)とプテリさん(右)

絵札めがけてヘッドスライディング

ジャンボかるた大会を開催

ファームパーク伊都国で1月10日、第2回ジャンボかるた大会を開催しました。

この日は朝から雪が降り、会場の外は一面雪景色。雪で開催が危ぶまれましたが、元気がいい子どもたち16人が参加し、60cm×45cmの大きなかるたを使って遊びました。

読み手が最初の1文字を読み上げた瞬間に、子どもたちの体が反応します。滑り込むようにかるたを取る様子を保護者たちは、驚いたり笑ったりしながら見ていました。



絵札を発見。勢いよく飛び込む子どもたち

東アジアの中の古代糸島

いとしま市民大学講座

交流しま専科「いとしま市民大学」の第5回講座「東アジアの中の古代糸島」が1月15日(土)、糸島市健康福祉センターふれあいで開催されました。

今回の講師は、伊都国歴史博物館名誉館長の西谷正先生。輝いていた古代糸島に焦点を当て、3世紀の東アジア諸国と北部九州の国々の関係など、分かりやすく解説されました。

受講生は、古代史の第一人者である西谷先生の話に熱心に聞き入りました。



市民大学には約100人の受講生が登録

大学生のまちづくり提案

地域活性化プランコンテストin糸島

1月8日から2泊3日で、地域活性化プランコンテストin糸島が開催され、10日に、市役所でプレゼンテーションが行われました。

これは、全国から集まった大学生が市内に合宿し「糸島を活性化させるためのプラン」を学習・検討しその内容を競い合うものです。

コンテストには8チーム32人の大学生が参加し、上位4チームが発表。各チームとも、徹夜状態でプランを練り上げ、大学生らしい提案に、会場から拍手が送られていました。



大学生の提案を聞こうと、100人近い市民が会場に集まりました

今日からわたしたちも社会人

平成23年糸島市成人式

今年の新成人は1137人。新成人を祝う「成人式」を1月10日、前原・二丈・志摩の3会場で開催。会場は、色とりどりの振り袖やはかまを着た若者で埋め尽くされました。

前原会場で新成人を代表してあいさつを述べた萩尾桂さんは「糸島で生まれ育ったことを誇りに思っている。社会人として、自分の言動に責任を持ちたい」と語りました。

会場では、成人になった喜びと親への感謝の気持ちから、涙ぐむ人も見られました。



この日を迎えられた喜び。感極まって涙ぐむ人も

今年も市民の生命・財産を守る

糸島市消防出初め式

754人の消防団員と67人の消防本部員、総勢800人以上が参加し、曽根グラウンドで1月9日、消防出初め式を開催しました。

この日は、姫島婦人消防隊や少年消防クラブも参加し、分列行進やまとい演技、消防署員による消火作業の実演などが行われました。

昨年は例年より火災件数が少なく、市民への防火・防災意識の啓発活動が浸透したためと考えられます。年の初めの活動に参加者たちは、改めて防災に向けて気を引き締めました。



消防団の分列行進、日ごろの連携・統率が活動の大きな力